

# 教科書ない試験ない 独自教育集大成

# 初卒業生 手作り芝居



本番に向けて発声練習する生徒

教科書もテストも宿題もないユニークな教育で知られる京田辺市興戸の「京田辺シュタイナー学校」(193人、12年制)が、シェークスピア作の戯曲「テンペスト(大嵐)」を7月に全国6会場で大演ずる。来春、卒業を予定している12年生(高校3年)が出演。脚本や演出、衣装、大道具などすべて手作りで臨む。芸術を重視する独自の教育の集大成。生徒たちは「おとぎ話の底に流れる人間の愛憎を見てほしい」と意欲を燃やしている。

## 京田辺シュタイナー学校

オーストリアの思想家ルドルフェ・シュタイナー(1861-1925)の子どもの可能性を

引き出す教育理念の実践を目指し、保護者らが非営利組織(NPO)法人をつくり、2001年に開校。音楽や身体表現を重視し、授業は、学んだ内容をクレヨンなどで描く「エポックシート」作成が中心となっている。

7年生として入学した12人(男子5人、女子7人)。同校では、初卒業生となる。現在は、衣装、演出、音楽など5班に分か

## 来月、全国6会場 衣装、大道具…準備追い込み



舞台げいこに熱の入る生徒たち

高等部担任の中村重郎教諭(44)は「生徒たちは自分の内面を見つめて演じている。感性は素晴らしい。感動を与えたい」と期待する。

「テンペスト」は、弟の裏切りに遭って孤島に流された領主が復讐を図る物語。妖精や道化など多彩な人物が登場し、演じるのが難しいとされる。

7月6日から名古屋や神奈川県など6会場。無料。府内は▽9日午後2時、京都市東山青少年活動センター▽16日、17日各午後5時、京田辺シュタイナー学校、の3公演。観劇申し込みは同校(ファクス020・4662・1093)。

# 手づくり

## 5会場ですから

小学校から高校までの12年間を一貫教育している京田辺市興戸のNPO法人「京田辺シュタイナー学校」(児童・生徒約200人)の12年生12人は来春の卒業を記念し、6日から全国5会場でシェークスピアの戯曲「テンペスト」を公演する。オーストリア生まれの思想家ルドルフ・シュタイナー(1861-1925)の理念に基づき教育方針を採り入れた学校で、公演する生徒は同校で初めての卒業生になる。

知識よりも子どもの感性や内面を重視するとし、企画したが、台本や音楽、衣装、ポスターなどはすべて生徒の手づくり。配役も人前で騒ぐのが苦手な生徒はおどけ役の道化師に、沈みがちな性格の生徒は陽気な妖精にというように、自らの性格と反対の役を演じることとし、自身の内面を直視し、自分を乗り越えることも目指している。

公演する生徒は開校時に7年生で入学した男子5人、女子7人。演劇を通じてモノづくりの責任やプロセスを学んでもら

## 京田辺シュタイナー学校 一期生12人「人の心動かす」

# 卒業演劇

### 戯曲「テンペスト」

なものをしたい」と意気込んでいます。活動センター、16、17日は京田辺シュタイナー学校。観劇申し込みは同校。FAX(020・466古屋市や神奈川県など。2・1090)へ。無9日は京都市東山青少年料。



本番を控え衣装を着て練習する生徒ら＝京田辺市の京田辺シュタイナー学校で

# 卒業公演 フィナーレ

京田辺市興戸、NPO法人立の京田辺シュタイナー学校(193人)の生徒たちが18日夕、同校ホールでシェイクスピアの戯曲「テンペスト」を上演した。卒業公演として、これまで大阪や名古屋、京都で6公演をこなし、約1000人の観客を集めてきたという。

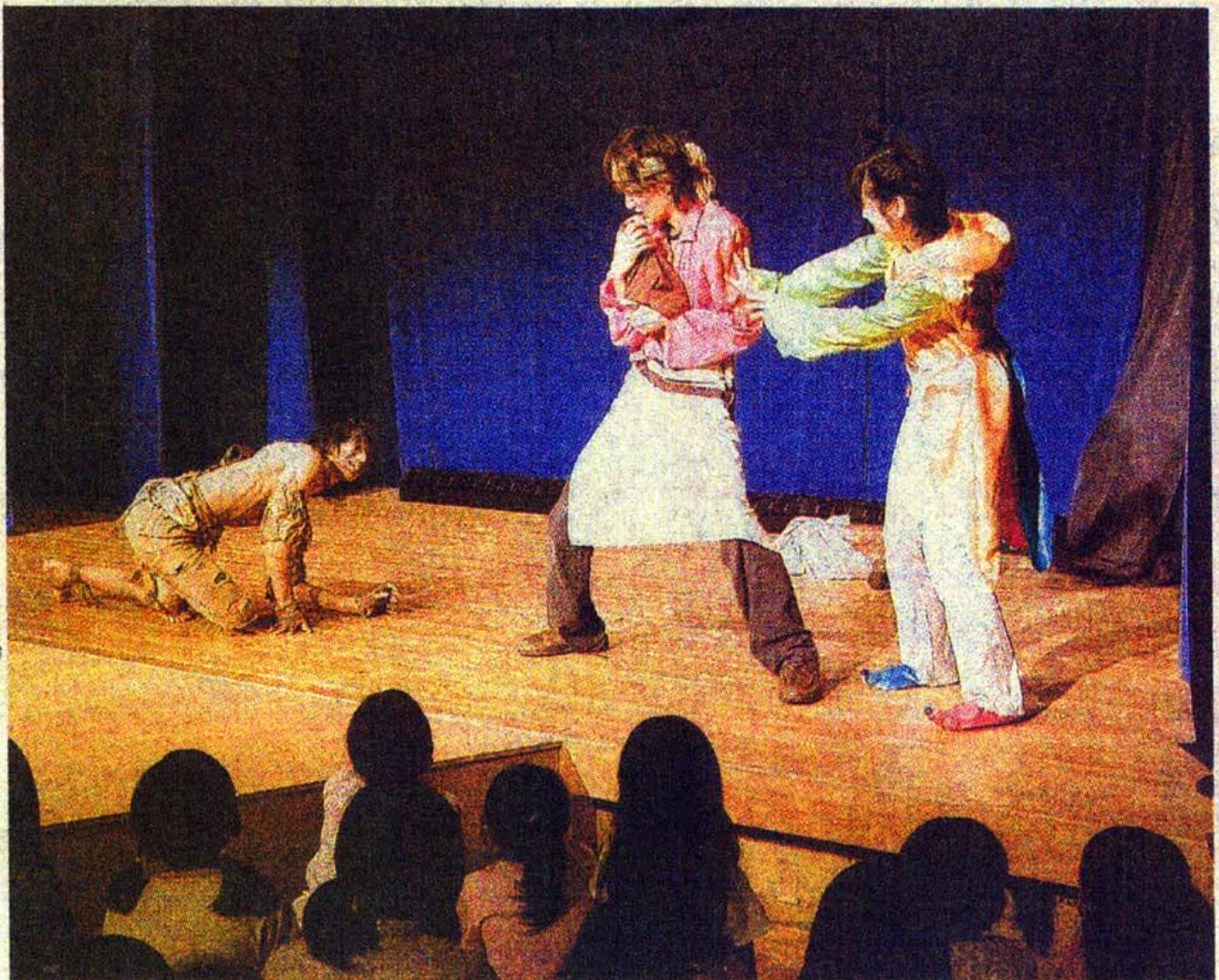
この日は最後の公演。高等部の12人

京田辺・シュタイナー学校

が、手作りの衣装を着て王侯貴族や化け物、妖精など多彩な登場人物に扮し、約2時間熱演。保護者や周辺住民ら約200人が見守った。

奈良市の主婦(43)は「笑いの間を取るのがうまくて楽しかった」と話し、担任の中村重郎教諭(44)は「鼻血を出しながらも出演し続けた生徒もいた。多くの人来ていただき、みんなの自信になった」と話していた。

## シェイクスピア戯曲 200人魅了



シェイクスピアの戯曲を熱演する京田辺シュタイナー学校の生徒たち